

読むまえに...

- ① 手順の説明：これからすることを子どものやる気が増すように楽しく説明する。



これから本と一緒に読みましょう。はじめは私が読んで、そのあとを〇〇さんに読んでもらいますね。読み終わったら、どんなお話だったか話しましょう。

- ② テキスト選び：いっしょに読む本を決める。

・テキストを子どもにわたす。



これは『えんそくのおとしもの』というお話です。
はじめは私が読んで、〇〇さんには、ここ（12ページはじめ）から読んでもらいます。

- ③ 興味・関心：テーマについて知っていることを確認し、興味・関心を高める。

・次のことばの理解を確認し、知らない場合は教える。



「えんそく」に行ったことがありますか。
「えんそく」は好きですか。／楽しかったですか。

- ④ 予測：テキストの絵を見せ、テーマについて予測させる。



絵を自由に見ていいですよ。
これはどんなお話だと思いますか。

メモ：

このテキストは、ひらがな、カタカナの拾い読みの段階の低学年児童に適している（テーマが認知発達レベルに適さないため、中学年以上（特に高学年以上）には原則として使用しない）。この段階の児童は読みながら内容を理解することは難しいと考えられるが、絵を見ながら、本の楽しさを感じ、流れを想像できるとよい。「読みましょう」では、後半を子どもが読むことになっているが、子どもの様子をみながら、最後のほうと一緒に読んでよい。また、逆に意欲があり、「1人で読みたい」と言う子どもに対しては、自分で読むようにすすめてかまわない。「話し合しましょう」でも、じっくり待って、はげましたり、認めたり、子どもの発話をつなげたりするなど、スモールステップのサポートを心がける。

また母語での読みの力が高く、日本語学習期間が短いためにこのテキストを選んだ子どもの場合は、音読の流暢度やあらすじの再生力が不十分であっても、内容をよく理解できている場合もある。その場合は、最後に母語であらすじ再生を求めたり、話し合ってもよい。最後に子どもが「読めた」「話せた」という達成感をえられるようサポートする。

読みましょう...

- ① 読み聞かせ：最初は実施者が読み、子どもはテキストを見ながら聞く。
 ・テキストを子どもに見せながら、初めから10ページの最後まで実施者が声にだして読む。



ではこれからいっしょにこの本を読みましょう。はじめは私が読みますね。後でどんなお話が聞きます。しっかり聞いていてください。

- ② 音読：続きを子どもが読む。

・12ページの初めからテキストの最後までを子どもが指で押さえながら読む。



これから〇〇さんに読んでもらいます。ここから最後まで声に出して読んでください。後でどんなお話だったか聞きますね。しっかり読んでください。はい、どうぞ。

・実施者は音読の区切り方やつまづいた時にどのように対処するかということに注意しながら聴く。
 (特に訂正や指導はしない)

・終わったら、声かけをする。



とても上手に／頑張って、読めましたね。

話しあいましょう...

- ① あらすじ再生：テキストをとじて、子どもがテキストの内容を再生する。
 実施者は「それから？」などと声かけをしつつ、子どもの話を最大限に引き出す。



ではこのお話はどんなお話でしたか。はじめてこのお話を聞く人にわかるように話してください。終わったら『終わりです』と言ってください。はい、どうぞ。

・下の『あらすじチェック』を参考に、どのくらい理解できているかをチェックする。
 重要な内容をふまえて、まとめて言うてもよい。下記のようなテキスト通りの言い方でなくともよい。

あらすじチェック

- 1. きょうは、(ももちゃん)えんそく。
- 2. すいとうがおちちゃった。
- 3. 「これはなんだろう」と、くまさん。
- 4. サンドイッチがおちちゃった。
- 5. 「これはなんだろう」と、うさぎさん。
- 6. チョコレートもおちちゃった。
- 7. 「これはなんだろう」と、りすさん。
- 8. (おべんとうの時間、リュックサックの中には)なにもない。
- 9. くまさんとうさぎさんとりすさんが、「おとしものだよ。」とはしてきた。
- 10. みんなでいっしょに「いただきます。」

- ② 理解を深めるやりとり：「絵」を見て、話し合いながら、理解を深める。
 ・再生が難しかった場合、「文字」ではなく、「絵」を見ながら、順序にそって、ストーリーを追い、
 その中で、子どもの発話を引き出す。

③ 文字と音の認識：文字と音との対応ができていないか再度、確認する。

・9ページをひらいて、次の質問をする。



「くまさん」という言葉はどこにありますか。
「は」(wa)という字はありますか。どこにありますか。

・10ページをひらいて、次の質問をする。



「サンドイッチ」という言葉はどこにありますか。

・14ページをひらいて、次の質問をする。



「へ」(e)という字はありますか。どこにありますか。

④ 解釈・感想：話を読んで、また自分の体験と結びつけてどう感じたか話し合う。



このお話は面白かったですか。 どこが一番面白かったですか。
どうしてそこが一番面白かったですか。 思い出したことや考えたことはありますか。

読んだあとで...

① ふり返り：全体をふり返り、良いところを見つけてしっかりほめる。



はい、これで終わりです。頑張りましたね。難しかったですか、簡単でしたか。
〇〇さんはとても上手に／頑張って〇〇できましたね。〇〇がよくわかっていますね。

② 読書習慣：本や本を読むことについて話し合い、読書への興味・関心を高める。



本は好きですか。よく本（教科書ではない本）を読みますか。
自分で読むのと、お話を聞くのとどちらが好きですか。
おうちの人に〇〇語／日本語の本を読んでもらいますか。
どんな本（お話の本、絵本、クイズ、めいろ、ずかん、マンガなど）が好きですか。
好きな本の名前を教えてください。（わかれば）

・母語での読みの力が高い子どもには、次のような質問をしてもよい。



〇〇語ではよく本を読みますか。
〇〇語でどんな本を読みますか（絵本、図鑑、物語、説明の本、教材など）
一週間にどのくらい〇〇語で本を読みますか。



ではこれからたくさん本を読んでください。ありがとうございました。